

# 2019年度第3四半期 決算報告

日産自動車株式会社  
2020年2月13日

NISSAN MOTOR CORPORATION



## AGENDA

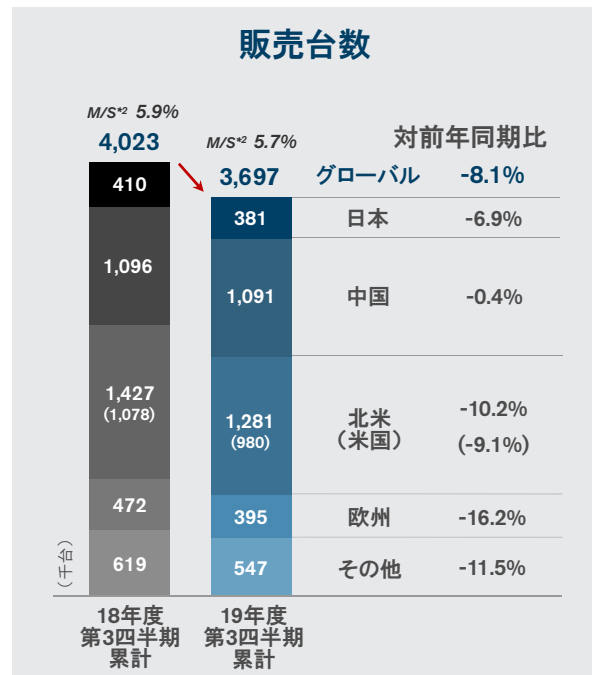
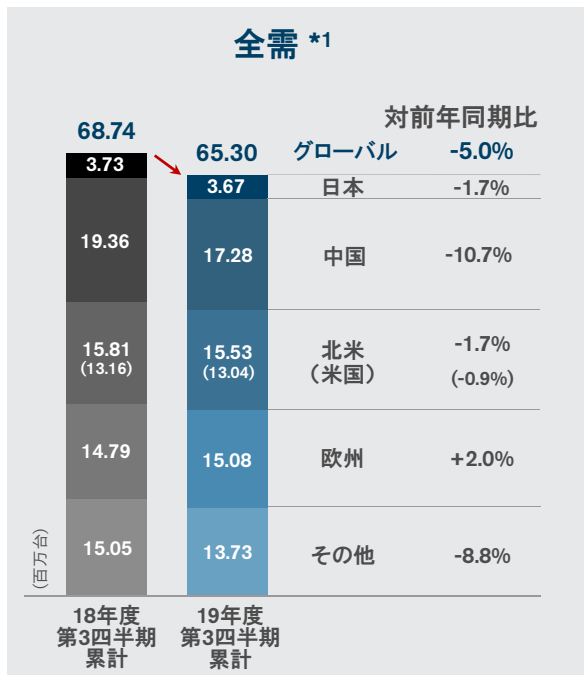
➔ 2019年度 第3四半期実績

2019年度 見通し修正

事業改革の進捗について

# 2019年度第3四半期(9ヵ月) 販売実績

## グローバル

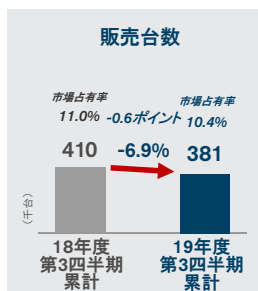


\*1: 日産集計値  
\*2: 市場占有率

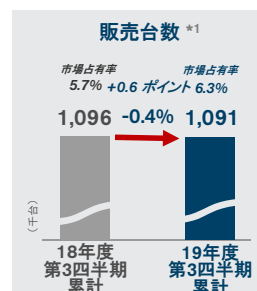
# 2019年度第3四半期(9ヵ月) 販売実績

## 主要市場

### 日本



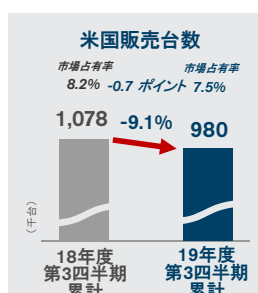
### 中国



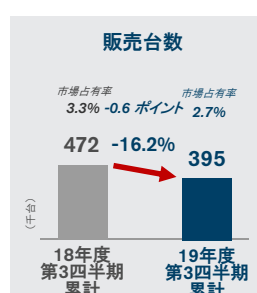
19年度 第4四半期 (10月~12月)  
全需 \*2 : 703万台、3.0%減  
販売台数 \*1 : 456千台、2.7%減  
市場占有率: 6.5%、0.0ポイント

\*1: 乗用車、小売ベース、小型商用車: 卸売ベース  
\*2: 乗用車と小型商用車のみ

### 北米

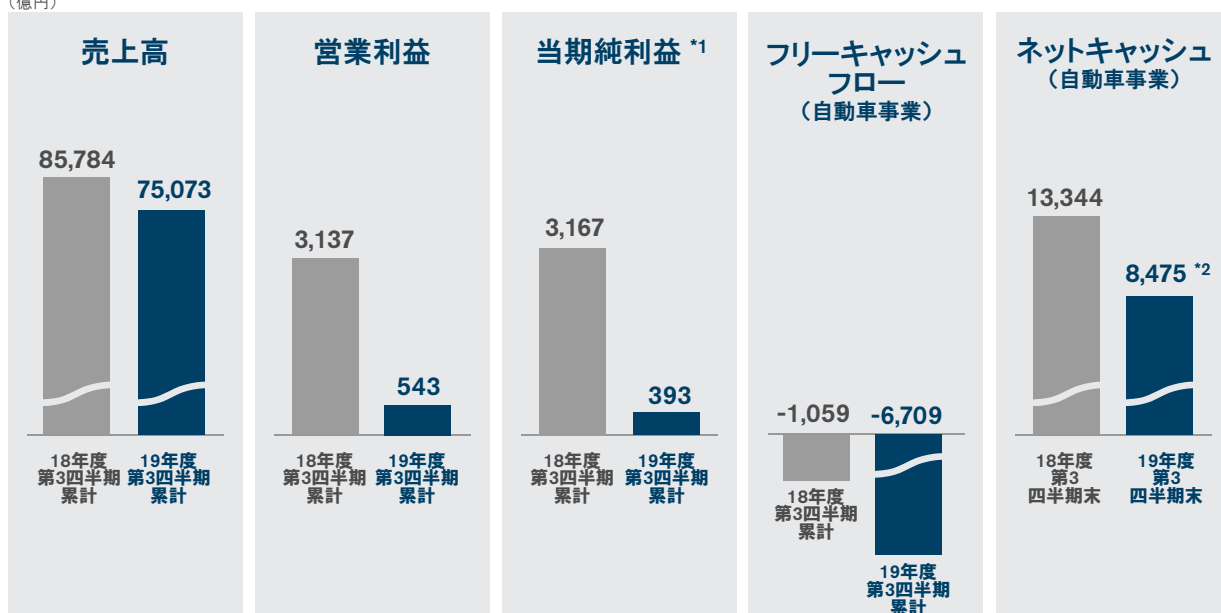


### 欧州(ロシアを含む)



# 2019年度第3四半期(9ヵ月) 主要財務指標 (東証届出値-中国合弁会社持分法ベース)

(億円)



中国合弁会社比例連結ベース:

項目	18年度 第3四半期 累計	19年度 第3四半期 累計
売上高	95,576	84,362
営業利益	4,510	1,793
当期純利益	3,167	393
フリーキャッシュ フロー	124	-6,452
ネットキャッシュ	16,810	11,593 *2

\*1: 親会社株主に帰属する当期純利益

\*2: 会計基準変更による影響額(中国合弁会社持分法ベース -825億円)を含む

# 2019年度第3四半期(9ヵ月) 財務実績 (東証届出値-中国合弁会社持分法ベース)

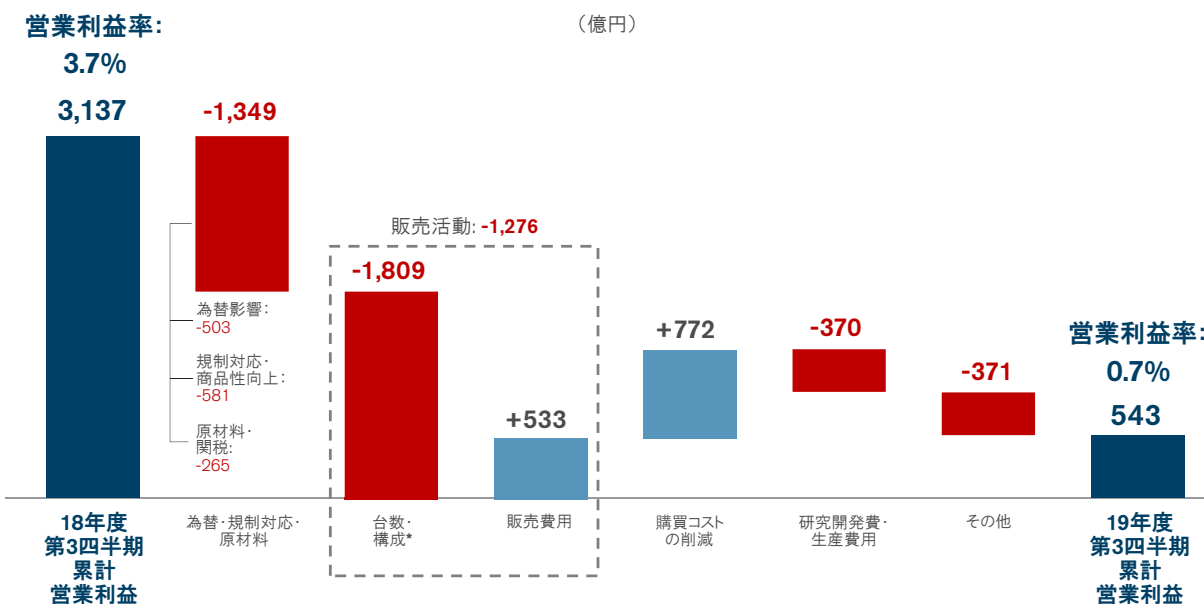
(億円)	18年度 第3四半期 累計	19年度 第3四半期 累計	増減	対前年同期比
売上高	85,784	75,073	-10,711	-12.5%
営業利益	3,137	543	-2,594	-82.7%
営業利益率	3.7%	0.7%		
営業外損益	1,581	871		
経常利益	4,718	1,414	-3,304	-70.0%
特別損益	-105	-269		
税金等調整前当期純利益	4,613	1,145	-3,468	-75.2%
税金費用	-1,282	-630		
実効税率	27.8%	55.0%		
少数株主利益 *1	-164	-122		
当期純利益 *2	3,167	393	-2,774	-87.6%
為替レート (ドル/円)	111.1	108.7	-2.4	
為替レート (ユーロ/円)	129.5	121.0	-8.5	

\*1: 非支配株主に帰属する当期純利益

\*2: 親会社株主に帰属する当期純利益

# 2019年度第3四半期(9ヵ月) 財務実績 (東証届出値-中国合弁会社持分法ベース)

## 営業利益増減分析



\* 台数増減に伴う販売奨励金の増減を含む

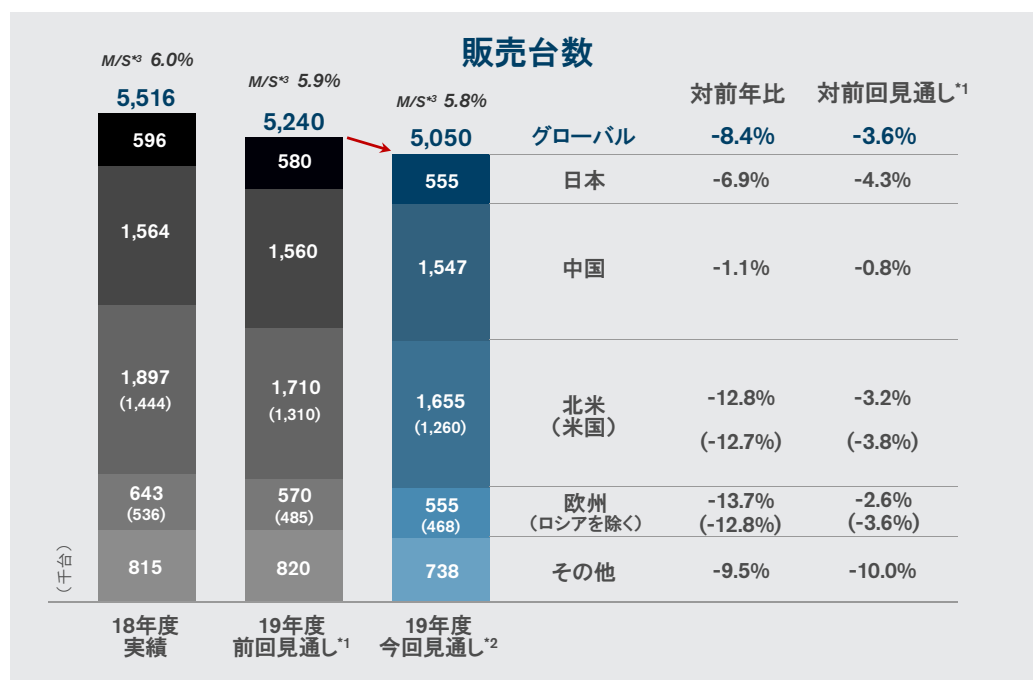
## AGENDA

2019年度 第3四半期実績

➡ 2019年度 見通し修正

事業改革の進捗について

## 2019年度 販売台数見通し



\*1: 2019年11月12日発表の見通し

\*2: 今回見通しには新型コロナウイルスの影響を含まない

\*3: 市場占有率

## 2019年度 業績見通し (東証届出値-中国合弁会社持分法ベース)

(億円)	19年度 前回見通し <sup>*1</sup>	19年度 今回見通し <sup>*2</sup>	増減	対前回見通し <sup>*1</sup>
販売台数 (千台)	5,240	5,050	-190	-3.6%
売上高	106,000	102,000	-4,000	-3.8%
営業利益	1,500	850	-650	-43.3%
営業利益率	1.4%	0.8%	-0.6ポイント	
当期純利益 <sup>*3</sup>	1,100	650	-450	-40.9%
当期純利益率 <sup>*3</sup>	1.0%	0.6%	-0.4ポイント	
想定為替レート (ドル/円)	107	108 <sup>*4</sup>	+1	
想定為替レート (ユーロ/円)	120	120	0	

\*1: 2019年11月12日発表の見通し

\*2: 今回見通しには新型コロナウイルスの影響を含まない

\*3: 親会社株主に帰属する当期純利益

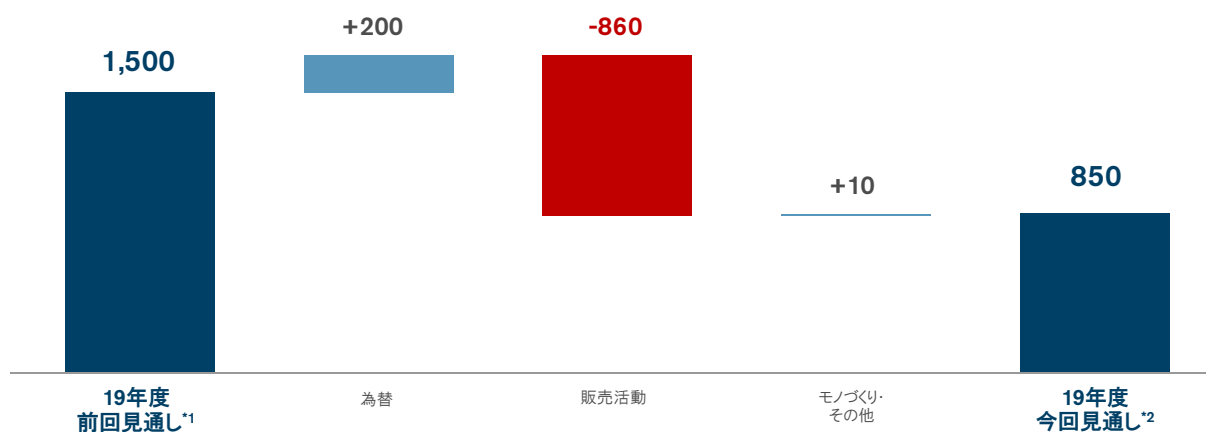
\*4: 第4四半期の想定レートは108円

# 2019年度 業績見通し

(東証届出値-中国合弁会社持分法ベース)

## 営業利益増減分析

(億円)



\*1: 2019年11月12日発表の見通し

\*2: 今回見通しには新型コロナウイルスの影響を含まない

## 2019年度 株主還元

	中間	期末 (予定)	通期 (予定)
2019年度 一株当たり配当金	10 円	0 円	10 円

# AGENDA

2019年度 第3四半期実績

2019年度 見通し修正

 **事業改革の進捗について**

## 事業改革

リカバリープランの主な取り組み

1. 米国事業のリカバリー

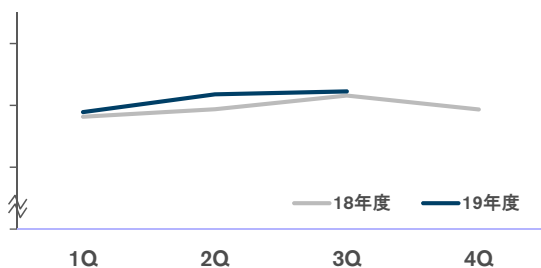
2. 事業及び投資効率の適正化

3. 新商品、新技術、「ニッサン インテリジェント モビリティ」を軸にした着実な成長

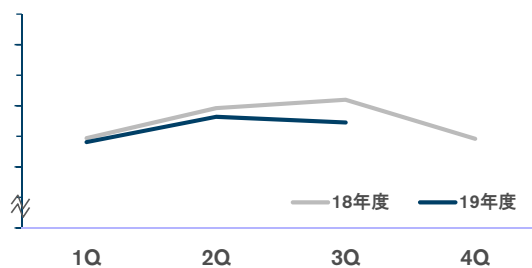
# 米国事業の状況

## 日産ブランドのKPI推移

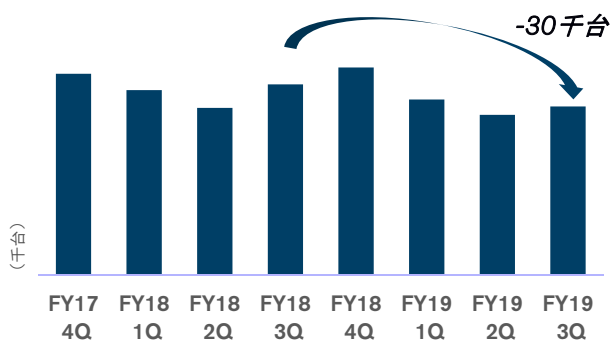
台当たり平均売価(販売奨励金控除後)は前年を上回る水準で推移



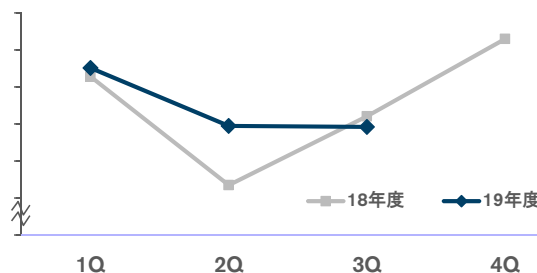
台当たり販売奨励金(小売)は前年を下回る水準で推移



販売会社在庫を前年同期比で30千台削減 (-12%)



フリート比率は前年を若干下回る水準でコントロール



## 事業及び投資効率の適正化

### 生産能力の合理化・生産ラインの効率改善

#### 予定どおりに進捗

- ・ 各生産拠点の戦略的役割を再定義
- ・ 実行計画の方向性を決定し、その遂行フェーズへ

### 商品ラインナップの合理化: 10%以上の削減

#### 予定どおりに進捗

- ・ インドネシアにおけるダットサンブランドの終了
- ・ 不採算商品の打ち切り
- ・ 当社が強みを持つ技術、車種群、地域への戦略的集中と投資の適正化



昨今の市場環境を鑑み、追加の合理化策についても検討中



# 新商品、新技術、「ニッサン インテリジェント モビリティ」を軸にした着実な成長

## NISSAN INTELLIGENT MOBILITY

### 新技術



スカイライン

### 新商品



ニッサン Xmotion コンセプト



ニッサン アリア コンセプト

### 新しいビジネス

Easy Ride

by Nissan & DeNA



## 今後に向けて

### 着実な成長の実現

- 更なる事業と投資効率の適正化
- CASEをはじめとする新技術への継続した投資
- 企業文化の改革

### 中期計画の見直し

- 足元の業績及び市場環境を見据え、計画を修正
- アップデートした計画を2020年5月に発表予定

本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでいます。従いまして、今後の当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替の変動等により、実際の業績がこれらの記述と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。